

システム開発会社さんに知っておいてほしい

UIUX のヒアリングポイント10

RAZONA

● UIUXにおけるヒアリングポイント10

本資料では **業務システムやSaaSのフロントエンド開発において、プロジェクトの初期にエンドクライアントへ確認すべき項目** をUIUXデザインの観点からご紹介します。

弊社の豊富な実績から、昨今UIUXが重要視されるプロジェクトが増えています。こちらの内容を参考にヒアリングすることで、UIUXにおける課題が明確となり、より良い提案につなげることができると思っています。



プロダクトが解決するビジネス課題

この情報は全ての設計決定の根拠となります。目的が明確になっている場合、デザイナーはその目標に向けた戦略を策定し、デザインとユーザーエクスペリエンスを最適化することができます。また、背景情報はプロジェクトの文脈を理解するのに役立ちます。



ユーザー像

プロダクトやサービスのユーザーを具体的に理解することは、UIUX設計において最も重要な部分の一つです。ユーザーペルソナを定義することで、デザイナーはそのユーザーの行動、ニーズ、欲求をより深く理解し、それに基づいたデザイン決定を行うことができます。



価値確認

市場のニーズ、ビジネスモデル、課題、競合環境、競合に割って入るためにどのような価値を提供できるのかを確認します。結果としてUI/UXではその価値をどう伝えるのかを追求していくことになります。既存プロダクトにおいても価値の再定義を行うことで上記を明確にすることができます。



使用頻度と行動パターン

ユーザーがどの程度頻繁に、またどのようにインタラクションを行うのか、どのような行動をとっているのか、どの機能が最も使用されているのかを理解することは、ユーザーエクスペリエンスを最適化する上で重要です。これらの情報は、ユーザーエクスペリエンスを改善するための具体的なアクションや優先順位を決定するために役立ちます。



コンテキスト

ユーザーがプロダクトをどのような環境や状況で使用するか、理解することが重要です。モバイルデバイスでの使用を想定しているのか、デスクトップ環境での使用を想定しているのかなど、ユーザーの具体的な使用状況を把握することで、より良いUXを提供できます。



連携して使うことになる外部プロダクト

連携して使用するシステムやプロダクトを知ること
は、全体のユーザーエクスペリエンスを理解する上
で重要です。よりシームレスなユーザーエクスペリ
エンスを提供するためには、この情報が必要です。



リサーチデータとユーザーフィードバック

客観的に調査されたリサーチデータおよびユーザーから今までに得たフィードバック、クレーム、要望はユーザーがプロダクトをどのように認識し、どのような課題に直面しているのかを理解するための非常に価値のある情報源です。



競合他社や市場での状況と傾向

競合他社のプロダクトや市場全体の傾向を理解することで、自社のプロダクトがどのように位置づけられるべきか、またどのような独自性や競争力を持たせるべきかが明確になります。また、業界のベストプラクティスや新たな技術のトレンドを把握することも重要です。

自社のプロダクトが他社とどのように違い、何がユニークなのかを理解することで、それを強調するデザイン戦略を立てることができます。



ブランドガイドラインやデザインシステム

既存のブランドガイドラインやデザインシステムがある場合、それらはデザインの方向性を決定するための重要な情報となります。これらが存在しない場合、新たに作成する必要があるかもしれません。



運用方針

プロダクトは一度リリースされた後も継続的に改善されるべきです。あらかじめ運用や保守の方針を確認しておくことは、長期的な成功を確保するために重要です。

具体的にはユーザーフィードバックの収集と分析、それを元にした改善のプロセスなどを計画します。



ヒアリング、UXリサーチ、フロントエンド開発、デザイン業務、プロトタイプを使った要件定義支援など、ご要望に応じて柔軟にお手伝いできます。

ぜひお気軽にご相談ください。

一緒にお仕事出来ることを楽しみにしております。

お問い合わせ先

<https://www.razona.jp/frontend/frontend-inquiry/>

お電話でのお問い合わせ :TEL 03-3230-0433

